

成年後見制度に関する障がい当事者部会からの意見

第3回権利擁護部会にて、成年後見制度の普及・啓発に関する取組を報告するにあたり、制度の認知度や利用意向について、令和5年度第2回障がい当事者部会（2月9日開催）で議題として取り上げた。以下、当事者部会からの意見を報告する。

① 成年後見制度について、どの程度知っていますか。また、あなたが所属されている会など、周囲の方にも成年後見制度の概要が普及されていると感じますか。

- ・名称は知っているが、内容までは詳しく知らない。また、周囲には「知りたくない」という方もいると思う。
- ・周囲の方は、おそらく制度の名前は知っていても、詳しい内容まではあまり知らない方が多いと思う。
- ・所属している会の中で、定期的に勉強会を開いている。
- ・障がいに関するフォーラムの中で、制度の勉強会をしていた。

② 安心して制度を利用するためには、どのような情報が必要だと感じていますか。

- ・成年後見人による横領などの事件があると、不安になる。成年後見人への信頼性がどのように担保されているのかを知りたい。

③ 制度の利用にあたって課題と感じていることは何ですか。

- ・一度利用を開始すると、ずっと報酬費用がかかってしまう。年金や手当など、入ってくるお金よりも支払う負担の方が大きい。
- ・多くの書類をそろえるなど、手続きが大変という印象がある。
- ・報酬の金額を裁判所に決められてしまうこと。